



やまなみ

師団長統率方針
いかなる任務も
完遂しうる強靱な
第6師団の創造

第6師団は、令和5年10月14日から10月19日までの間、王城寺原演習場において、「令和5年度第2次師団訓練検閲」を実施しました。

第6師団(師団長 楠見陸将)は、王城寺原演習場において4個部隊に対し10月14日から16日までを前段、10月17日から19日までを後段に区分して「令和5年度第2次師団訓練検閲」を実施しました。

本訓練検閲では、前段に第20普通科連隊(連隊長 武田1佐)、第6情報隊(隊長 神谷2佐)、後段に第6高射特科大隊(大隊長 金野2佐)、第6通信大隊(大隊長 高原2佐) に対し「師団の攻撃における行動」を課題として評価、練度の進歩・向上を促しました。

楠見師団長は、訓練開始式において、「指揮の要訣の実践」「部隊の戦闘力の組織化及び最大限發揮」「新領域からの脅威への対応」「安全管理・健康管理の徹底」の4点を要望しました。

各部隊は、各級指揮官の明確な企図に基づく適時適切な指揮により、その能力を遺憾なく發揮するとともに、新領域(宇宙、サイバー、電磁波)における脅威に対応しつつ、全ての任務を完遂しました。

楠見師団長は、講評において「全隊員が一致団結して、任務を果たさんとする強靱不屈な敢闘精神を目的の当りにし、大変心強く感じた。各部隊長を核心に、更に練成を積み重ね、強靱な部隊及び隊員として更に前進することを期待する。」と述べました。



令和5年度 第2次師団訓練検閲



前段検閲 訓練開始式



後段検閲 訓練開始式



第6高射特科大隊



第20普通科連隊



第6通信大隊



第6情報隊



楠見師団長視察



84m無反動砲射撃



120mm迫撃砲による照明弾射撃



40mm自動てき弾射撃

～各種戦闘射撃能力の向上～



16式機動戦闘車による射撃

第22即応機動連隊(連隊長 中本1佐)は、9月10日から9月16日までの間、王城寺原演習場各射場において、令和5年度総合戦闘射撃を実施しました。本訓練は、16式機動戦闘車105mm砲及び、中距離多目的誘導弾等保有火器の正確かつ確実な射撃要領の習熟を図ることを目的として実施しました。特に84m無反動砲の射撃においては、120mm迫撃砲の照明弾を使用した夜間射撃を行い、夜間でも目標を観測するために必要な射法の習熟を図りました。また、WAPC搭載の76mm発煙弾射撃においては、その煙幕効果を確認し、各種戦闘行動との連携要領について具体化を図ることができました。連隊は、本訓練で得た成果を資とし、これからも日々の練成を積み重ね、更なる戦闘力の向上及び精鋭化に向けて邁進していきます。



令和5年度総合戦闘射撃
第22即応機動連隊

第48回第6音楽隊定期演奏会

令和5年11月21日(火)
開場18:00 開演19:00
山形市民会館(山形市香澄町2-9-45)

応募は締め切りました。
沢山の応募ありがとうございました。
当選結果は発送をもって発表とさせていただきます。
もうしばらくお待ち下さい。

告知
第19回第6師団音楽まつり

令和6年2月 開催(予定)
たくさんの応募お待ちしております。



第6師団HP

令和5年度山形県自衛隊殉職隊員追悼式(執行者 第6師団長 楠見陸将)が9月30日、神町駐屯地において、御遺族、御来賓、駐屯地各部隊長及び隊員の参列のもと、厳粛かつしめやかに行われました。駐屯地体育館において第6音楽隊による国家吹奏後、儀仗隊による弔鐘、参列者全員で黙とうを捧げ、捧げ銃で押した後に、参列者全員で黙とうを捧げ、哀悼の意を表しました。執行者(師団長)が追悼の辞において、故人の生前の功績を称え故人を偲ぶとともに、式の最後に、儀仗隊による弔鐘が厳かに鳴り響き、殉職隊員22柱のご冥福をお祈りしました。



儀仗隊による弔鐘



幕僚長による献花

師団長弔辞

令和5年度
山形県自衛隊殉職隊員追悼式
第6師団